

平成30年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月8日から23日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録はウェブサイトに掲載しています。

ID 1022724

総務委員会

男女共同参画推進事業について

Q 愛知県男女共同参画人材育成セミナーへ市民1人を派遣したとのことだが、一宮市として、この事業に対してどのような費用負担があったのか。また、セミナーを受講した方は、その後どのような活動をしているのか。

A 愛知県が講師やプログラム作成の費用を負担するため、本市としては、参加者の8回分の旅費を負担しました。また、セミナー修了生については、男女共同参画の関係セミナーの企画に携わるとともに、さまざまな事業に協力していただいています。

一宮市自主防災リーダー研修について

Q この研修の出席者の年齢層が高いように思われるが、若い方の参加を促すためにどのような取り組みを行っているのか。

A 愛知県が主催している高校生防災フォーラムに職員も出席して、本市で開催される自主防災リーダー研修への参加を呼びかける取り組みを行っています。

経済教育委員会

農産対策費におけるカラス対策について

意見 カラスの捕獲数が年々減少しているが、カラスによる街中のゴミ集積所への被害及び糞による害が依然として非常に多く発生しているので、関係当局が連携し、さらなる対策に取り組んでほしいとの意見があった。

一宮競輪場の場外車券売場について

Q 一宮競輪場の場外車券売場は平成31年3月末をもって終了し、4月以降は民間事業者による場外車券売場がオープンしているが、一宮市とはどのような契約になっているのか。

A 本市と民間事業者との間には土地の賃貸借契約が結ばれており、その賃地料に上乗せする形で、売り上げの一定割合が市の収入となる契約となっています。

意見 民間の場外車券売場と競輪場は近接しているため、競輪場の解体と新しい商業施設の建設において、利用者の出入りに影響がないよう努めてほしいとの意見があった。

福祉健康委員会

病院事業会計について

Q 一宮市立市民病院は3年続けて外来、入院患者数が減少し、病院収益も3年連続で純損失を計上しているが、今後どのように経営改善していく方針であるのか。

A 新規の患者数を増やすことで増収を図り、支出については材料費や委託料の見直しを行うなど、経営改善に努めます。

病児保育について

Q インフルエンザ等で他人への感染が危惧される児童も、病児保育に預けることは可能なのか。

A 本事業に使用する部屋は2室あり、病状に応じて部屋を使い分けるため、受け入れは可能です。

意見 病児保育の利用者も年々増えており、保護者にはありがたい制度であるが、実施している保育園の数や、受け入れ可能な定員数が少ないので、実施する保育園を増やすことを検討してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

木曾川伏流水の減少について

Q 平成30年度は、木曾川の伏流水取水量が減少し、不足分を県水にて補ったとあるが、1日当たりどの程度少なくなったのか。

A 約2,000立方メートル少なくなっています。

準用河川川崎川改良事業について

Q 工事の区間が非常に短いのが、効果はでているのか。また、工事区間が短い理由は何か。

A 改修済みの区間では浸水も発生しておらず、十分効果を発揮しています。また、工事区間については、河川のため濁水期しか工事ができません。加えて、市民生活に影響がないよう配慮して整備しているためです。

民間木造住宅解体補助事業について

Q 予算に対し、決算額が増えているが、これについてどう考えているか。

A リフォームを兼ねた耐震改修よりも住宅の新築を希望する方が多く、解体に対する補助が増加傾向にあると分析しています。